

機

逆轉操縱裝置 同轉裝置 調速裝置	其ノ他ノポンプ	燃料ポンプ 同關聯裝置	空氣壓縮ポンプ 同關聯裝置	
全數	全數ノ $\frac{1}{3}$	全數	全數	
一般狀況ヲ検査ス	一般狀況ヲ検査シ必要ト認ムルトキハ水壓試験ヲ行フ	ポンプ胴、プランヂヤ弁類及「バネ」ニ就キ一般狀況ヲ検査ス	(イ) ポンプ胴蓋、ピストン接合棒及弁類ハ主機械本體ニ準ジ検査ス 装着管類ニ就キ水壓試験ヲ行フ (ハ)(ロ) 空氣冷却器胴及細管ニ就キ水壓試験ヲ行ヒ必要ト認ムルトキハ細管切開試験ヲ行フ (ニ) 氣蓄器ニ就キ内部掃除ヲ行フ	(ト) (ヘ) ニ各軸受裏金磨耗ノ狀況ヲ検査ス カム及コロニ就キ磨耗ノ程度ヲ検査ス 傳導齒車ニ就キ外貌検査ヲ行フ

械					
軸系	附屬諸裝置	臺架 板構	安減 全壓 弁弁	消排 音出 器管	掛外 フルカン 減速裝置
全	全	全	全	全	全
數	數	數	數	數	數
接手離脱ノ上銜面ノ平行調査ニ依ル中心 検査ヲ行フ	(ロ)(イ) 一般狀況ヲ検査ス 必要ト認ムルトキハ水壓試驗ヲ行フ	(ロ)(イ) 掃除ヲ行ヒタル上外貌検査ヲ行フ 臺板取附ボルト及支柱「ボルト」ニ就 キ外貌検査及増締検査ヲ行フ	(ロ)(イ) 一般狀況ヲ検査ス 壓力調整ヲ行フ	(ロ)(イ) 腐蝕、衰朽ノ狀況ヲ検査ス 必要ト認ムルトキハ水壓試驗ヲ行フ	(イ) 一般狀況ヲ検査シ咬合齒ニ就キ磨 耗、缺損ノ有無及程度ヲ檢測ス (ロ) 減速齒車齒ニ就キ磨耗ノ程度ヲ檢測 シ當リ具合ヲ検査ス (ハ) 減速裝置軸受裏金ニ就キ狀況ヲ検査 ス

軸 系 推 進 器					
推 進 器	軸 管、張 出受	推 船 進 尾 軸 軸	中 間 軸	各 種 接 手	軸  受
全  數	全  數	全  數	全  數	全 數 ノ 三	全  數
外貌検査ノ上必要ト認ムルトキハ拔出ノ 上検査ス	「リグナムバイト」ニ就キ磨耗ノ状況ヲ檢 査ス	外貌検査ノ上必要ト認ムルトキハ拔出ノ 上検査ス	外貌検査ヲ行フ	一般状況ヲ検査ス	(イ) 取附部共ノ他ニ就キ一般状況ヲ検査 ス (ハ)(ロ) 裏金ニ就キ磨耗ノ程度ヲ検査ス 推力軸受ニ就キ一般状況ヲ検査シ各 部ノ遊隙ヲ検測ス (ニ) 嵌輪ニ就キ遊隙ヲ検測ス (ホ) 中間軸ニ自動注油装置ヲ有スルモノ ニ在リテハ油冷却管ニ就キ水壓試験ヲ 行フ

補 助 機 械 同 關 聯 裝 置						
揚 操 錨 舵 裝 裝 置 置	蒸 蒸 溜 化 器 器	油 冷 却 器	過 掃 給 除 氣 ポ ン プ	潤 滑 油 ポ ン プ	冷 却 水 ポ ン プ	内 火 補 助 機 械
全  數	全  數	全  數	全 數 ノ 三	全 數 ノ 三	全 數 ノ 三	全  數
(ロ)(イ) 主要部ノ開放検査ヲ行フ 主要部ノ磨耗ノ程度ヲ檢測ス	(ロ)(イ) 蒸發管(細管)ノ水壓試驗ヲ行フ 必要ト認ムルトキハ蒸發管(細管) ノ切開試驗ヲ行フ	(ハ) 行フ 必要ト認ムルトキハ細管切開試驗ヲ 行フ (ロ)(イ) 細管掃除ノ上水壓試驗ヲ行フ 必要ト認ムルトキハ胴ノ水壓試驗ヲ 行フ	(ロ)(イ) 開放検査ヲ行フ 軸受裏金ニ就キ磨耗ノ程度ヲ檢査ス	ポンプ部開放検査ヲ行フ	(ロ)(イ) ポンプ部開放検査ヲ行フ 必要ト認ムルトキハ「ポンプ」筐ニ就 キ水壓試驗ヲ行フ	内火主機械ニ準ジ檢査ス

雜					罐助補		置 裝 諸	
振計測器	風路	品海水藻除、同附着	油漉	諸タンク類	煙路煙突	罐	諸管裝置	第一、二排出弁
全數	全數	全數	全數	全數	全數		冷却水管裝置 艦外燃料管裝置 燃料移動海水管裝置	全數
(イ) 作動ノ狀況ヲ検査ス	一般狀況ヲ検査ノ上調整ヲ行フ	一般狀況ヲ検査ス	澆器共ノ他内部諸裝置ニ就キ一般狀況ヲ検査ス	蒸氣機關裝備ノ主罐ニ準ジ検査ス	(ロ)(イ) 腐蝕、衰朽、毀損ノ有無ヲ検査ス 必要ト認ムルトキハ水壓試験ヲ行フ	(ハ)(ロ)(イ) 摺合セテ行フ 開鎖關聯部遊隙調整ヲ行フ 必要ト認ムルトキハ水壓試験ヲ行フ		

三〇

1294

事記	其ノ他	通信装置	全 數	(ロ) 整合ヲ行フ
		必要ト認ムルモノ		
代用材料使用箇所ハ其ノ狀況ヲ検査シ特ニ海水關係ニ使用ノモノニ對シテハ其ノ腐蝕、 衰朽ノ狀況ヲ確認スルモノトス				

1295

廢止

内令提  
要登載

内令第千四百四十六號  
昭和十八年內令第一七七五號  
ニテ本號廢止  
當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

ニューギニア民政府

技師 局員 臨時 五人  
技手 附 臨時 三十人

内令第千四百四十七號

海軍技術會議規則中左ノ通改正ス

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條第一項中「艦政本部第七部長」ヲ削リ「航空本部第四部長」ノ次ニ「海軍潜水艦部長」ヲ加

内令

一一二二

1296

内令

一一三三

第三條中「第七部首席部員」ヲ「總務部第三課長」ニ改ム

(内令提要卷一、二二ノ五頁参照)

内令第千四百四十八號

昭和十七年内令第千七百十八號及昭和十八年内令第二百十二號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「臨時一人」ヲ「臨時二人」ニ改ム

参照 前記内令ハ海軍運輸部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第千四百四十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1297



軍令部

中少佐 部員 一人

内令第千五百五十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十七年内令第二千三百三十一號中「第一海洋、第二海洋」ヲ削リ「及神鷹丸」ヲ、「神鷹丸及氣象觀測兼交通船第一天海、第三天海」ニ改ム

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

南方海軍航路部（海洋觀測船第一海洋、第二海洋ノ乗員ニ充ツベキモノ）

中少尉（水）、兵曹長 附 二人

兵 曹、水 兵 十人（掌信號兵 二）

衛生兵曹、衛生兵 二人

主 計 兵 二人

參照 昭和十七年内令第二千三百三十二號ハ水路部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

一一三三

1298

内令

一一三四

内令第千五百五十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

特設測量艦第三十六共同丸

技手 乗組 一人

減員

水路部

技手 一人

内令第千五百五十二號

昭和十八年内令第九百八十六號中左ノ通改正ス

本令ハ昭和十八年六月十五日ヨリ之ヲ施行ス

1299

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「二人」ヲ「三人」ニ、「四人」ヲ「十一人」ニ、「十人」(掌整備兵器兵一三)ヲ「十二人」(掌整備兵器兵一五)ニ改ム

参照 前記内令ハ第十二航空艦隊司令部ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令第千百五十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大湊海軍建築部

衛生兵曹、衛生兵

三人

内令第千百五十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

内令

一一三五

1300

内令

一一二六

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第七聯合特別陸戰隊司令部

中少尉(水)、兵曹長 附

一人

兵 曹、水 兵

四人(掌機雷兵)

内令第千五百五十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八通信隊

機關兵曹、機關兵

六人(掌内火兵  
掌電機兵 一)

内令第千五百五十六號

昭和十八年内令第百五十三號中「十一人(掌砲兵〔高一〕)」ヲ「十三人(掌砲兵〔高二〕)」ニ改ム

1301

同年内令第九百四十七號中「夕風」ノ下ニ「朝風」ヲ加フ

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 昭和十八年内令第五百十三號ハ驅逐艦初雪等ニ人員臨時増置ノ件  
同 年内令第九百四十七號ハ驅逐艦松風等ニ人員臨時増置ノ件

内令第一千五百五十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦時雨、白露、有明

兵 曹、水 兵 七人(掌砲兵 三)

○正誤 済

本年内令第九百五十六號中主計兵曹五人ノ下ニ「(掌經理兵)」ヲ脱ス 済

本年内令第九百六十九號中三行目「機關兵二十人」ハ「機關兵二十二」ノ誤 済

内 令

一一二七

1302

内令  
要登載

内令第千五百五十八號

横須賀鎮守府第二特別陸戰隊職員表ヲ別表ノ通定ム

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(別表一葉添)

内令第千五百五十九號

昭和十七年内令第千九百十二號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府ノ部中長鯨ノ項「一」ヲ「二」ニ、上海港務部ノ項「一」ヲ「二」ニ改ム  
佐世保鎮守府ノ部中第四十一掃海隊ノ項ヲ削ル

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

内令

一一二九

1303

内令

内令第千百六十號

佐世保鎮守府第四豫備艦

軍艦千歳

右第三豫備艦ト定ム

昭和十八年五月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千百六十一號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

汽船	船舶名	特設艦船種別	所管
	朝嵐丸	特設運送船(給油船)	横須賀鎮守府

一一三〇

1304

(別表)

横須賀鎮守府第二特別陸戰隊職員表

(昭和十八年内令第千五百五十八號)

考 備	計		隊		隊		分隊		分隊長		分隊長		副官		司令官			
	特務	士官	中尉	少尉	大尉	中尉	大尉	大尉	大尉	主計科	主計科	軍醫科	軍醫科	少佐	大尉	兵科佐官		
	十二人	二十人 内兼務六人	十二			六 内兼務一人	兼務五	兼務五	兼務五	兼務五	兼務五	兼務五	兼務五	兼務五	兼務五	兼務五	兼務五	
	兵	下士	准士	主計	衛生	工務	機關	水	主計	衛生	工務	機關	水	主計	衛生	工務	機關	
	九百七十人	百五十二人	十九人	兵	兵	兵	兵	兵	曹	曹	曹	曹	曹	長	長	長	長	
				八十	九	二十	五十一	八百五十	六	三	二	八	百三十三	一	一	一	一	十五

一 分隊長ハ隊附ノ、隊附大尉中一人ハ副官ノ兼務トス  
 二 隊附大尉ハ大中尉(水)ヲ以テ充ツルコトヲ得  
 三 中少尉ハ豫備中少尉ヲ以テ代フルコトヲ得  
 四 中少尉、中少尉(水)及兵曹長ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得  
 五 下士官及兵ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減シ又他科ノ下士官及兵ヲ以テ充ツルコトヲ得  
 六 特修兵ハ適宜トス



内令第千六百六十二號

右特設運送船（給兵船） トシ佐世保鎮守府所管ト定メラレタル處之ヲ解ク

汽船 廣徳丸

✓ 汽船 日春丸

右特設運送船（給兵船） トシ舞鶴鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 海平丸

右特設運送船（雜用船） トシ横須賀鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

汽船 日晴丸

右特設運送船（雜用船） トシ吳鎮守府所管ト定メタル處之ヲ解ク

昭和十八年六月十日 海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第千六百六十三號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十日 海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一一三一

1306

内令

一三三二

吳鎮守府ノ部佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第二十號」ノ次ニ「第三十一號」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

1307

内令第千百六十四號

防空關係要員ニ充ツベキ補充兵一、五〇〇名ニ對スル指導員トシテ左ノ標準ニ依リ人員ヲ臨時増置  
シ昭和十八年六月一日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

館山海軍砲術學校

大 中 尉(水)

附兼分隊長

六人以内

中少尉(水)、兵曹長

附

三十九人以内

兵 曹、水 兵

機關兵曹、機關兵

三百人以内(特修兵適宜)

衛生兵曹、衛生兵

主計兵曹、主計兵

本人員ハ補充兵ト同一ノ鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス

内 令

一三三

1308

内令提  
要登載

内令第千百六十五號（所要ノ向ニ配付）

内令第千百六十六號

大正十二年内令第百十三號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍令部ノ部中「三人」ヲ「二人」ニ改メ「内吳鎮守府在籍者一人」ヲ削ル

參照 大正十二年内令第百十三號ハ派遣勤務員ヲ隘クベキ慰及人員ノ件ナリ（内令提要卷一、四七三頁）

内令

一三七

1309

内令第千百六十七號 (所要ノ向ニ配付)

内令第千百六十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十二特別根據地隊

大	中	尉(水)	隊附兼 分隊長	二人
中	少	尉	隊附	一人
中少尉(水)	兵曹長		隊附	十一人
衛生兵	曹長			一人
主計兵	曹長			一人
兵	曹、水	兵		四百四十八人
機關兵曹、機關兵				三十六人
工作兵曹、工作兵				五人

(特修兵適宜)

内令

一一四一

1310

衛生兵曹、衛生兵	十人
主計兵曹、主計兵	二十二人
本人員中特務士官以下ハ横須賀鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス	
第九特別根據地隊	
大 中 尉(水)	隊附兼 分隊長 一人
中少尉(水)、兵曹長	隊 附 六人
軍 醫 中 少 尉	隊 附 一人
中 少 尉(工)	隊 附 一人
主 計 兵、曹 長	一人
兵 曹、水 兵	二百一人
機關兵曹、機關兵	三十人
工作兵曹、工作兵	六人(特修兵適宜)
衛生兵曹、衛生兵	五人
主計兵曹、主計兵	十一人
本人員中特務士官以下ハ横須賀鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス	

内令提  
要登載

<p>内令第千百六十九號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十八年六月十日 霞ヶ浦海軍病院 主計兵曹、主計兵 一人(掌理兵)</p> <p>海軍大臣 嶋田繁太郎</p>	<p>内令第千百七十號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス 昭和十八年六月十日 吳鎮守府第八特別陸戰隊 主計科尉官 隊附 一人</p> <p>海軍大臣 嶋田繁太郎</p>	<p>内令第千百七十一號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス</p>
---	---	--------------------------------------

内令

一四三

1312

内令

一一四四

昭和十八年内令第七百九十六號中「木曾」ノ下ニ「川内」ヲ加フ

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍艦川内

兵 曹、水 兵

十一人(掌砲兵 三)

参照 昭和十八年内令第七百九十六號ハ軍艦木曾ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第七百七十二號

昭和十八年内令第八百二十五號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

霞ヶ浦海軍航空隊(千歳分遣隊及三澤分遣隊ノ職員ニ充ツベキモノ)

ノ部中	「仕」	「機」
板	上	械
接	金	一、板
		具
	三	三
	一	一
	二	二
	改	ム

参照 前記内令ハ霞ヶ浦海軍航空隊(千歳分遣隊及三澤分遣隊ノ職員ニ充ツベキモノ)等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

1313



内令提  
要登載

内令第千百七十三號

昭和十八年内令第千六十號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「秋雲」ノ下三「風雲、磯風」ヲ加ヘ驅逐艦風雲ノ部ヲ削ル

参照 前記内令ハ驅逐艦夕雲等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令提  
要登載

内令第千百七十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時減員ス

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府第一特別陸戰隊

少佐、大尉 副官 一人

軍醫科佐尉官 軍醫長 一人

主計科佐尉官 主計長 一人

内令

一一四五

大	中	軍	主	中	中	中	主	衛	機	工	衛	主
尉	尉	醫科尉官	計科尉官	少尉	少尉	少尉(水)兵曹長	計中少尉(主)、主計兵曹長	生兵曹長	關兵曹、機關兵	作兵曹、工作兵	生兵曹、衛生兵	計兵曹、主計兵
尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉	尉
附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附	附
三人	十人	二人	一人	十人	一人	一人	二人	一人	六百七十一人	六人	十一人	三十六人
										(特修兵適宜)		

内令  
登錄

内令第千七百七十五號

掌電信兵(特)關係要員配置表別表ノ通定ム

昭和十八年六月十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(別表一葉添)

内令

一一四七

1316

(別表)

掌電信兵(特)關係要員配置表

(昭和十八年内令第千七百七十五號)

所屬	配員先	特務士官			下士官			普通兵			
		横	吳	佐	横	吳	佐	横	吳	佐	
第一聯合通信隊司令部	第三、四、六	三			六	三	四	三	一	一	
第四艦隊司令部	第三、五、六	三			一〇	三	三	三	一〇	一〇	
南東方面艦隊司令部	第一、二、八、	二			八	四	一〇	三	七	二〇	
南西方面艦隊司令部	第一、二、三、	四			二〇	三〇	一〇	三〇	四	三〇	
上海在勤海軍武官府	第五十一通信隊	一			一〇	五	二〇	五	一〇	三〇	
第五艦隊司令部	第五十一通信隊	一			一〇	五	二〇	五	一〇	三〇	
聯合艦隊司令部		一			五	五	一〇	一〇	一〇	一五	
第二艦隊司令部		一			五	五	一〇	一〇	一〇	一〇	
第三艦隊司令部		一			五	五	一〇	一〇	一〇	一〇	
第六艦隊司令部		一			一	三	一				
第十二航空艦隊司令部		一			一	三	一				
父島方面特別根據地隊		一			五	三	三	三	一	一	
横須賀海軍通信隊		三			一〇	五	一〇	一〇	一〇	一〇	
吳海軍通信隊						五			一〇		
佐世保海軍通信隊							一〇			一〇	
舞鶴海軍通信隊							一〇			一〇	
高雄海軍通信隊							五			一〇	
大湊海軍通信隊					三					一〇	
鎮海海軍通信隊							五			一〇	
大阪通信隊						五			一〇		
羅津通信隊							一〇			三〇	
大和田通信隊					五		四〇		六〇	三〇	
幌筵通信隊					五		四〇		六〇	三〇	
横須賀海軍通信學校	特班教員	三			一〇		一〇				
軍令部派遣勤務	軍令部特務班	一			五		四				
合計		三	一六	三三	一八二	一〇七	一六九	九七	三六三	一四四	二六三

備考

一 本表ノ人員ハ當該各部ニ臨時増置(軍令部ニ在リテハ派遣勤務)トス

二 本表ノ人員ハ昭和十八年官房人機密第九五號及同第九六號ニ依リ高等科電信術練習生ノ特班又ハ普通科電信術練習生ノ特班ヲ専修シタルモノト看做サレタル者及今後特班教程ヲ修了スル者ヲ以テ之ニ充ツルモノトス

三 本表ハ昭和十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ配員ハ概ネ昭和十八年末迄ニ完了スルモノトス

内令第千七百七十六號

昭和十七年内令第三百六十三號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年六月十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ佐世保海軍病院(疎早應急病舎ノ勤務ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

○正誤

本年内令第千四百四十四號中「軍醫大中佐 部員 兼務一人(第五十一根據地隊司令部職員ノ兼務)」

ハ「軍醫科佐尉官 部員 兼務一人(千島方面特別根據地隊軍醫長ノ兼務)」ノ誤

内令

一一四九

1318



内令  
要  
登  
載

内令

一一五二

内令第千七百七十九號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ二海軍工廠ノ部中横須賀ノ項掌砲兵高ノ欄「四」ヲ「五」ニ、吳ノ項掌砲兵高ノ欄「四」ヲ「五」ニ、掌水雷兵高ノ欄「三」ヲ「四」ニ、佐世保ノ項掌砲兵高ノ欄「三」ヲ「四」ニ、海軍病院ノ部中横須賀、吳及佐世保ノ各項掌砲兵高ノ欄各「〇」ヲ「二」ニ、掌信號兵普ノ欄各「〇」ヲ「二」ニ改ム同表備考第卅號中「光海軍工廠」ヲ「川棚海軍工廠、沼津海軍工廠、鈴鹿海軍工廠」ニ、「第二海軍火藥廠」ヲ「光海軍工廠」ニ、「十四人ヲ配置ス」ヲ「十四人、舞鶴海軍工廠ニ高等科掌機雷兵三人ヲ配置ス」ニ改メ「高等科掌砲兵二人」ノ下ニ、「第二火藥廠ニ高等科掌砲兵三人」ヲ加フ

特修兵配置表其ノ二ノ二中舞鶴海軍病院ノ項掌砲兵高ノ欄「〇」ヲ「一」ニ、掌信號兵普ノ欄「〇」ヲ「二」ニ改ム

教員配置表其ノ三中横須賀海軍病院乃至第二海軍火藥廠ノ各項ヲ夫々左ノ如ク改ム

1320

内  
令

沼津海軍工廠	川棚海軍工廠	光海軍工廠	豊川海軍工廠	舞鶴海軍工廠	佐世保海軍工廠	廣海軍工廠	吳海軍工廠	横須賀海軍工廠	舞鶴海軍病院	佐世保海軍病院	吳海軍病院	横須賀海軍病院
一	一	二	二	三	四	三	五	五	一	二	二	二
									一九	三六	三六	三六

一一五三

1321



内令  
提  
登  
載

内  
令

鈴鹿海軍工廠	一
海軍航空技術廠	四
第二海軍火藥廠	三

(内令提要卷一、四二五頁参照)

内令第千百八十號

聯合艦隊ニ參謀副長ヲ置ク等ノ件左ノ通定メラル

昭和十八年六月十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大東亞戰爭中聯合艦隊ニハ艦隊令第五條ノ職員ノ外司令長官ノ幕僚トシテ參謀副長(少將、大佐一人)ヲ置クコトヲ得  
參謀副長ハ參謀長ヲ輔佐ス

一  
二  
五  
四

1322

海軍療品廠定員表

考 備	計		附	部 員		衛生中少尉 一	技 師 一	書 記 四	衛生兵曹 二	主計兵曹長 一	衛生兵曹長 二										
	特務士官 一人	士官、高等文官 十九人 <small>内兼務三人</small>		軍醫科、藥劑科少將 一	總務部長 一							第一製造部長 一	第二製造部長 一	研究部長 一	會計部長 一	醫務部長 一	軍醫科、藥劑科大佐 一	軍醫科、藥劑科大中佐 一	軍醫科、藥劑科少佐、大尉 五	軍醫科、藥劑科尉官 一	軍醫科、藥劑科尉官 三
一 必要ニ應ジ技師ニハ士官ヲ、士官ニハ技師ヲ以テ充ツルコトヲ得但シ技師ヲ以テ士官ニ充ツル場合ニ於テハ其ノ員數ハ三人以内トス	二 本表中軍醫科、藥劑科士官ニ代フルニ看護科特務士官ヲ以テ充ツルコトヲ得	准士官 三人	下士官 二人	判任文官 七人	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一	兼務一

海軍病院定員表 共ノ一

(昭和十八年内令第千七百七十八號)

考 備	計		附兼教官 衛生中少尉 看護科特務士官 主計中少尉(主)	分隊長兼 軍醫大尉 軍醫少佐、軍醫大尉 軍醫少佐、軍醫大尉	教官 軍醫中少佐 軍醫少佐、軍醫大尉 藥劑少佐、藥劑大尉	練習部長 軍醫中少佐 軍醫大尉	部 員 軍醫科尉官 藥劑科中少佐 藥劑少佐、藥劑大尉 藥劑科尉官	分院長 軍醫大佐 軍醫科佐官 軍醫中少佐 軍醫少佐、軍醫大尉	消毒部長 軍醫大佐 藥劑大佐	藥劑部長 藥劑大佐 藥劑大佐	第一部長 軍醫大佐 軍醫少將、軍醫大佐	副官 軍醫中少佐 軍醫少將、軍醫大佐	長 軍醫少將	横須賀	吳	佐世保	横須賀	吳	佐世保	
	特務士官	士官																		
一 横須賀、吳及佐世保海軍病院長ノ中二人ハ軍醫中將ヲ以テ補スルコトヲ得	八人	七十二人 <small>内兼務十六人</small>	二	一	二	一	七	二	八	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一
二 衛生兵曹長ハ教員ニ充ツ	八人	六十八人 <small>内兼務十六人</small>	一	一	二	一	八	二	四	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一
三 看護科特務士官ノ中各二人ハ教官兼分隊長ト爲スコトヲ得	八人	六十七人 <small>内兼務十六人</small>	一	一	三	一	六	二	四	一	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一
	兵	准士官	主計兵	衛生兵	水兵	書記	衛生兵曹	兵曹	兵曹	主計兵曹長	衛生兵曹長	兵曹長								
	三百四十五人	十人	十二	二百二十八	二	四	八	二	二	一	八	一								
	三百三十五人	十人	十二	二百十九十五	二	四	八	二	二	一	八	一								
	三百九人	十人	十二		二	四	九	二	二	一	八	一								

考 備	計		附 兼 教 官 (主計中少尉(主))	分 教 官 兼 長	教 官	練 習 部 長	部 員	消 毒 部 長	藥 劑 部 長	第 一 部 長	第 二 部 長	副 官	長	海 軍 病 院 定 員 表 共ノ二	舞 鶴			
	特 務 士 官	士 官		軍 醫 大 尉	軍 醫 大 中 佐	軍 醫 大 中 佐	軍 醫 大 中 佐	軍 醫 大 中 佐	軍 醫 大 中 佐	軍 醫 大 中 佐	軍 醫 大 中 佐	軍 醫 大 中 佐	軍 醫 大 中 佐			軍 醫 大 中 佐	舞 鶴	
	五 人	三 十 四 人 内 兼 務 八 人		一	二	一	一	一	二	六	七	一	一			一		舞 鶴
	兵 判 任 文 官	下 士 官		准 士 官	主 計 兵 官	衛 生 兵 官	水 兵 官	書 記	主 計 兵 官	衛 生 兵 官	兵 官	主 計 兵 官	衛 生 兵 官			兵 官		
八 十 五 人	三 人	三 十 八 人	八 人	六	七 十 七	二	三	四	三 十 三	一	一	六	一	舞 鶴				

一 衛生兵曹長ハ教員ニ充ツ  
二 衛生中少尉ノ中一人ハ教官兼分隊長ト爲スコトヲ得



海軍病院定員表 其ノ四

(昭和十八年内令第千七百七十八號)

計		附 衛生 中少尉	部 員				副官兼 員		長		湊 野比 嬉野 山中
特務士官	士官		藥劑科尉官	軍醫科尉官	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫中少佐	藥劑中少佐	軍醫大中佐	軍醫大佐	軍醫少將、軍醫大佐	
三人	十八人	三	一	四	六	二	一	二	一	一	
二人	十七人	二	一	五	三	三	一	二	一	一	
二人	二十二人	二	一	六	七	三	一	二	一	一	
	内 八人 兼務 一人										
兵	判任文官	下士官	准士官	主計兵	衛生兵	書記	主計兵曹	衛生兵曹	主計兵曹長	衛生兵曹長	湊 野比 嬉野 山中
五九人	二人	三三人	三人	二	五十七	二	四	十九	一	二	湊
五十八人	二人	三五人	三人	二	四十八	二	三	二十三	一	二	野比
六十七人	一人	三三人	六人	二	六十五	一	四	二十八	二	四	嬉野
二十八人	一人	十人	二人	二	十八	一	二	八	一	一	山中

計		附 衛生中少尉	部員		部副官		長官		大湊 高雄 鎮海 旅順		
特務士官	士官		藥劑科尉官	軍醫科尉官	軍醫中少佐	軍醫少佐、軍醫大尉	軍醫大中佐	軍醫大中佐			
一人	七人 <small>内兼務二人</small>	一	一	四 <small>内兼務二</small>	一	一	一	一	大湊		
一人	九人 <small>内兼務一人</small>	一	一	四 <small>内兼務一</small>	一	一	一	一	高雄		
一人	六人 <small>内兼務一人</small>	一		四 <small>内兼務一</small>		一	一	一	鎮海		
	四人 <small>内兼務一人</small>					兼務一	一	一	旅順		
兵	判任文官	下士官	准士官	主計兵	衛生兵	書記	主計兵曹	衛生兵曹	主計兵曹長	衛生兵曹長	
十八人		七人	一人	二	十六		一	六		一	大湊
三十三人	一人	十三人	二人	二	二十二	一	二	十一	一	一	高雄
十六人		九人	一人	三	十四		一	八		一	鎮海
十二人		六人	一人	二	十		一	五		一	旅順

海軍病院定員表 共ノ五

内令第千八百八十一號

昭和十七年内令第千九百十二號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保鎮守府ノ部中上海海軍特別陸戰隊ノ項第五欄ニ「附一」ヲ、第二十六設營隊ノ項ノ次ニ

第三十六設營隊

ヲ加フ

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

内令第千八百八十二號

伊號第五十六潜水艦

右本籍ヲ吳鎮守府ト假定ス

昭和十八年六月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一一五五

1329



内令提  
要登載

内令

内令第千八百三十三號

艦艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

潜水艦、一等伊五十四型ノ項中「伊號第五十四」ノ下ニ「伊號第五十六」ヲ加フ

(内令提要卷三、三三頁参照)

一五六

1330

内令第千八百八十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍機雷學校

兵 曹、水 兵 九十人  
機關兵曹、機關兵 十人

内 令

一一五七

1331

(内令第千八百八十四號ハ後送ス)

内令第千八百八十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月十二日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

特設潜水母艦筑紫丸

中少尉(工)、工作兵曹長

乗組

一人

工作兵曹、工作兵

五人(掌工兵

(機械  
木具  
三))

内令第千八百八十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年六月十二日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

特務艦白埼

兵曹、水兵

一人(掌暗號兵)

内令

一二五九

1332

内令

二六〇

内令第千八百八十七號

未成ノ伊號第五十六潜水艦ノ定員表(假定)ハ伊號第五十四潜水艦ノ定員及特修兵ノ員數ト同一ト  
ス

昭和十八年六月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1333

内令  
登載

内令  
登載

内令第千百九十號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

哨戒艇定員表中「第百一號」ノ下ニ「第百二號、」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ八四頁参照)

内令第千百九十一號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十八哨戒艇ノ部中「第百一號」ノ下ニ「第百二號、」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三四頁参照)

内令

一一六三

内令

二六四

内令提  
要登載

内令第千百九十二號

海軍定員令中左ノ通改正セラレ

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等驅逐艦定員表其ノ六中「濱波」ノ下ニ「玉波」ヲ加フ

附則

本令ハ昭和十八年四月三十日ヨリ之ヲ適用ス

(内令提要卷一、四一八ノ四八頁参照)

内令提  
要登載

内令第千百九十三號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十四中「濱波」ノ下ニ「玉波」ヲ加フ

1335

内令  
登載

附 則

本令ハ昭和十八年四月三十日ヨリ之ヲ適用ス

(内令提要卷一、四三〇ノ三五頁参照)

内令第千百九十四號

昭和十七年内令第二千七號中左ノ通改正ス

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設海軍航空隊定員表其ノ二ノ二中飛行隊長中佐「二」ヲ「一」ニ、分隊長少佐、大尉「九」ヲ「七」ニ、隊附兵科尉官「十七」ヲ「十三」ニ、隊附中少尉(飛)「十九」ヲ「十四」ニ、同中少尉(整)「六」ヲ「四」ニ、飛行兵曹長「二十三」ヲ「十六」ニ、整備兵曹長「十」ヲ「七」ニ、飛行兵曹「六十五」ヲ「四十六」ニ、整備兵曹「六十」ヲ「四十八」ニ、主計兵曹「七」ヲ「六」ニ、整備兵「二百八十六」ヲ「二百一十一」ニ、衛生兵「六」ヲ「五」ニ、主計兵「二十三」ヲ「十九」ニ、士官「三十八人」ヲ「三十一人」ニ、特務士官「二十八人」ヲ「二十一人」ニ、准士官「三十九人」ヲ

内 令

一一六五

1336

「二十九人」ニ、下士官「百八十四人」ヲ「百五十二人」ニ、兵「四百十人」ヲ「三百三十人」ニ改ム

同表備考第一號中「四人」ヲ「三人」ニ、「二人」ヲ「一人」ニ、同第二號中「十四人」ヲ「十一人」ニ、「三人」ヲ「二人」ニ、同第四號中「二人」ヲ「一人」ニ改ム

特設海軍航空隊特修兵配置表中第五二ノ項掌飛行兵ノ欄「三」ヲ「三」ニ、掌航空兵器兵ノ欄「三」ヲ「三」ニ改ム

「 $\frac{七}{四}$ 」 $\frac{〇}{三}$ 」 $\frac{〇}{三}$ 」ヲ「 $\frac{三}{三}$ 」 $\frac{〇}{二}$ 」ニ、掌整備兵ノ欄「三」ヲ「三」ニ改ム

参照 昭和十七年内令第二千七號ハ當分ノ間特設海軍航空隊定員表等ヲ定ムルノ件ナリ（内令提要卷一、四六〇ノ六頁）

内令第九十五號

特設艦船部隊定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設防備隊定員表其ノ三中「第三十二表」ヲ「第三十一表ノ三」ニ改ム

内令  
登載

1337





内令  
要登載

内令

一一六八

内令第千九十七號

特設艦船部隊定員令申左ノ通改正セラル

昭和十八年六月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設警備隊定員表其ノ六ノ二中「第三十二表ノ七ノ三」ヲ「第三十二表ノ七ノ三」ニ、「其ノ六ノ

二」ヲ「其ノ六ノ三」ニ改ム

特設警備隊定員表其ノ六ノ二ヲ別表ノ如ク定ム

特設警備隊定員表其ノ八ノ二中「第三十二表ノ九ノ二」ヲ「第三十二表ノ九ノ三」ニ、「其ノ八ノ

二」ヲ「其ノ八ノ三」ニ改ム

特設警備隊定員表其ノ八ノ二ヲ別表ノ如ク定ム

(別表二葉添)

(内令提要卷一、五六二ノ一四頁参照)

内令  
要登載

内令第千九十八號

臨時海軍徴備航空輸送部規程左ノ通定ム

1339